

# 市役所 あこれやこれや

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

## 12. 19(日) 知事と考える震災に強い地域作り!

高知市の高知会館で、尾崎正直県知事と各市町村の自主防災組織の代表による座談会が開催されました。市からは赤岡町の弁天地区自主防災会と一本松・高見・横町4区自主防災会の代表4人が参加し、次期南海地震に対しての取り組みや課題、今後の自主防災活動について発表しました。また、県知事への



要望や他市町村との意見交換も活発に行われ、大変有意義な座談会となりました。

## 1. 23(日) 和歌山県で自主防災組織の活動事例発表

和歌山県有田市で、高知県、徳島県、三重県、和歌山県による「4県連携自主防災組織交流大会」が開催されました。市からは、野市町東上野東自主防災組織の堅田静夫会長がパネラーとして出席。会合では、各県の自主防災組織の取り組み発表の後、意見交換や組織継続のための今後の取り組みについて話し合い、各県が共通認識を持つ南海地震への対応について理解を深めました。



防災対策課 ☎ 57-8501

2010-2011

## 1. 20(木) エコドライブを習得!

東部自動車学校で『エコドライブ教習会』が開催され、事業所として市役所より8人の職員が参加しました。

事前走行で教官の隣に座ると、最初は身も心も震え『エコドライブ』どころではない危機感が漂いましたが、親切丁寧な教官の指導のもと、緊張もほぐれ、運転実習や運転中の技術、ポイントなどの座学講義を無事修了しました。実践した数値を見てみると、参加者の多くが2~3割強の燃費向上が見られ、驚きの結果となりました。

市では、職員が率先して『エコドライブ』を実践し、市民や事業者の皆さまへ取り組みを広げていけるよう啓発活動等を実施しています。皆さんもエコドライブを実行しましょう。

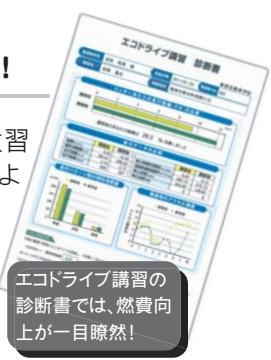


(広報こうなん1月号P30「エコドライブ10のすすめ」をご覧ください)



県では昨年より、県民や事業者に『エコドライブ』を普及するため、エコドライブマイスター(教官)を県内の全指定自動車学校に1名ずつ育成しています。

環境対策課 ☎ 57-8508



エコドライブ講習の診断書では、燃費向上が一目瞭然!

## 1月9日(日) 香南市消防出初め式

香我美運動広場で消防職員・消防団員・女性防火クラブ・赤岡町少年防災クラブなど約300人による、平成23年香南市消防出初め式が開催されました。式典は参加者全員による行進に始まり、服装・車両機械器具点検が行われ、今後予想される災害などに対し住民の生命と財産を守る要として決意を新たにしました。また、消防団員等の表彰では、火災において初期消火・延焼防止に功績のあった3人の方に感謝状が贈られました。

消防本部 ☎ 55-4141



## 願いを矢に託す

夜須八幡宮 もてまい 百手祭

1月24日(月)・25日(火)の両日、夜須町西山の夜須八幡宮で県内の三大弓神事とされる「百手祭」が行われました。この行事は約400年前、人畜を襲い田畑を荒らしていた牛鬼を、弓の名手だった近森左近という人物が退治したことを祝って始まったそうです。

氏子の中から選ばれた12人の射手が、五穀豊穡や家内安全を願って、約28m離れた的めがけて次々に矢を放ち奉納。射手たちは2日間で1,816本の矢を一心に放ち、「しっかり伝統を受け継いでいく」と決意しました。



## あきらめ 諦めない根っこを育てて

夜須中央公民館「有森裕子『宝くじ文化公演』」



公演終了後に行われたサイン会で、この日訪れた山田高校女子陸上部に「がんばってね!」とエールを送る有森さん。

1月17日(月)夜須中央公民館マリナーホールで、マラソンランナーの有森裕子さんの文化講演会が行われました。

「よろこびを力に…」と題した公演では、ご自身の経験から、優秀な肩書きがなくても諦めない気持ちを持ち続けたことで、チャンスをつかみ取ることができたと話され「自分の可能性は何歳になっても分からない。自分に期待してみなさんも頑張ってください」と来場者にエールを送りました。有森さんの公演は、来場者にとって諦めない力を受け取った素晴らしい時間となりました。



## 自慢の力作がずらり

2011香我美町文化祭&山北棒踊り300年記念展

1月15日(土)・16日(日)の両日、香我美市民館で香我美町文化祭が行われました。文化サークルや地元保幼小中学校の作品展示のほか、茶道・ちぎり絵・おもしろ科学実験などの体験コーナーを設置。また、たこ焼きやうどん、シラの天ぷらなどの出店もあり、来場者は多彩な催しを楽しんでいました。

また、文化祭に併せて「五色百人一首大会」を開催。五色百人一首は、百人一首を20首ずつ5色に色分けし、そのうちの一組を使って対戦するもの。参加した地元小中学生約40人は、真剣な表情で詠み上げられる歌に耳を澄ませ「ハイッ!」という元気な声とともに、字札に素早く手を伸ばして取り合っていました。

さらに、香我美図書館では15日から30日(日)まで「山北棒踊り300年記念展」が開催されました。山北棒踊りが今年300年の節目を迎えるのを記念して、写真コンクール入賞作品や棒踊りにまつわる史料・関係品などを展示。訪れた人々は、伝統ある棒踊りの貴重な品々にじっと見入っていました。

